

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary
横浜旭ロータリークラブ



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-26年度 RI会長／フランチェスコ・アレツツォ
RI.D2590ガバナー／大塚 正一
横浜旭RC会長／五十嵐 正



ガールスカウトとクリーン作戦



第12回 チャリティコンサート



防災先進国イタリアに学ぶ講演会開催

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33／〒241-0836
TEL.080-1215-6668／FAX.045-362-0024
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3／4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2025年7月2日 第2584回例会 VOL.57 No.1

■司会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 五十嵐 正

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	14名
本日の出席率	73.68%	修正出席率	75.00%

■本日の欠席者

草棚、中谷、宋、二宮、佐藤（真）、

■オンライン出席者

佐藤（真）、関口、関澤、福村

■誕生日祝い

福村会員 7.15

■木槌の交換



■会長報告

五十嵐 正

皆さま、今年度横浜旭ロータリークラブの会長を拝命いたしました五十嵐でございます。皆さまと共に歩む一年にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

また、久しぶりのソングリーダーのお役目の

新川さん、ありがとうございました。おそらくSLを通常の例会で見ること初めての方も多々ように思ひます。SL復活については、あとで改めてご説明をさせていただきます。

▶ R財団よりメッセージです。

ロータリー財団では、皆様のご支援のおかげで、今年度の現時点までに458件の地区補助金、1,210件のグローバル補助金、69件の災害救援補助金が授与しています。

さらに、2024年だけで、ロータリーとそのパートナー団体、そして支援者の活動により、36カ国で2億7,000万人を超える子どもたちに10億回を超える経口ポリオワクチンを接種することができました。皆さまのご支援により、私たちはポリオのない世界へと日々近づいています。

より良い世界を築こうとする皆さまの熱意が一つひとつの補助金となり、子どもたちの未来に好ましい変化をもたらしていくでしょう。「世界でよいこと」を実現していくためのご支援に重ねて感謝申し上げます。ロータリー財団

▶地区より

- 1、2025-26年度の地区資金予算案の承認。
- 2、国際共同委員会（ウクライナ・日本間）への加盟について、地区内クラブの3分の2以上の『賛成』が得られましたので。国際共同委員会が立ち上がった時点で、地区として『加盟』

申請を行います。

3、月信について

2025-26年度の月信につき、地区HPにて掲載し、例年の冊子による会員各位への配布は行いません。

▶水谷先生より近況報告を頂きました。

五十嵐様会長就任おめでとうございます。私も、避難所・避難生活学会の代表理事に就任しました。お互い大変だと思いますが、頑張りましょう。

さて、横浜市の件ですが、資機材の調達を本年度進めています。同時に、運営（ボランティア・専門職など）について、8月6日に有識者や内閣府防災職員を交えて第一回の検討会が開かれます。私も参加しますが、そこで今後の方向性が見えてくると思います。

その前後にでも、打ち合わせさせて頂き体と思います。よろしくお願いします。

■幹事報告 関口 大樹

▶例会臨時変更のお知らせ

○横浜保土ヶ谷 RC

25年7月21日(月) 祝日休会

○大和 RC

25年7月22日(火)・8月12日(火)

・8月19日(火)=休会

8月26日(火) 夜間例会

▶卓話のご案内

○横浜 MM21RC

7月28日(月)

『財団奨学生による社会貢献～30年後の検証』

横浜市立大学学長 石川 義弘様

■ニコニコ BOX

新川 尚／五十嵐会長、関口幹事、一年間宜しくお願いします。

安藤 公一／五十嵐会長、関口幹事、これから一年間宜しくお願いします。

中島 徹／五十嵐会長、関口幹事、一年間宜しくお願いします。

田川 富男／五十嵐会長、関口幹事、新年度宜しくお願いします。

岡田 隆／五十嵐会長をはじめ役員の皆様、会員の皆様、本年度宜しくお願いします。

目黒 恵一／五十嵐会長、関口幹事、無事出航おめでとうございます。一年間宜しくお願いします。

市川 慎二／五十嵐会長、関口幹事、の門出を祝して。

北澤 正浩／今年度もよろしくお願いいたします。

五十嵐 正／第57代の会長を拝命しました五十嵐です。皆様よろしくお願いします。

■幹事所感

幹事 関口 大樹



この度、2025-26年度の幹事を拝命いたしました、関口でございます。歴史と伝統あるこの横浜旭ロータリークラブで幹事という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。皆様に承認いただいたことに心より感謝申し上げます。

また、前会長幹事の北澤さんと市川さんが築き上げてこられた実績ときめ細やかなサポートに深く敬意を表します。そのご苦勞とご尽力に報いる為にも、私も微力ながら精一杯務めてまいる所存です。

さて、幹事という役職は、会長の方針のもと、例会運営やクラブの事務全般を円滑に進める重要な役割であると認識しております。会員の皆様がロータリー活動に意欲的に取り組めるよう、そして、クラブがより一層発展していけるよう、誠心誠意努めてまいります。

私個人としては、みなさんとの親睦の強化を大切にしたいと考えています。従来の例会の流れを踏襲しつつ、みなさんが発言をしやすい場を作っていけるよう、努力します。

至らぬ点多々あるかと存じますが、会長をはじめ、役員の皆様、そして会員の皆様方のご指導とご協力を仰ぎながら、一年間職責を全うしてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

■会長所感

会長 五十嵐 正

皆さま、このたび、横浜旭ロータリークラブの会長を拝命いたしました五十嵐です。老齢ではありますが、皆さまと共に歩む一年にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいた



します。

さて、クラブ会長方針についてお話しさせていただきます。

まず私が最も大切にしたいのは、「ロータリーを楽しむ」ということです。これは、私たちが活動が続けるうえでの原動力であり、三カ年計画の一丁目一番地でもあります。

これは、親睦を始め、社会奉仕、職業奉仕といった委員会活動は勿論ですが、なんといっても、その第一歩は「例会の充実」にあると考えています。

今、例会は月3回、1時間と限られた時間の中で開催されています。皆さんもお忙しい中、時間をやりくりしてご出席くださっているわけですから、「今日の例会は来てよかった」と感じていただけるような内容を、工夫して作っていきたいと思っています。

そのためには、卓話の充実はもちろんのことですが、例会全体にももう少し彩りを加えていければと考えています。以前は、卓話の前に各委員会からの報告や「5分間情報」、ソングリーダーの時間など、盛りだくさんでした。その分、プログラムを調整するSAAは苦勞されたかもしれませんが、今思えば、それだけ活気があったということでもあります。

近年はコロナ禍の影響もあり、例会の内容が簡素になり、早く終わってしまうこともありました。そこで今年度は、出足に新川さんをお願いしました、ソングリーダーの復活です。おそらく、ここにいる半分の会員はご存知ないかもしれませんが、これから、地区や他クラブの例会、行事に参加される時は、例会の点鐘後には、ソングリーダーのリードでロータリーソングを皆さんで唱和します。このリーダーのお役目は、7月は新川さんをお願いしましたが、その後はSAAがランダムにご指名しますので、上手い下手は関係ありません。ぜひ楽しく挑戦してください。

また、スマイルの発表や週報の編纂等、特定の会員に偏ることなく、持ち回りでお願いします。

次に、例会プログラムに「友誌紹介」や「5

分間情報」、そして新たに「ちょっと気になる防災情報」などの短いスピーチ枠を取り入れていくことといたしました。

今月の友誌の紹介ですが、担当の方は、事前に読んで頂き、感想や是非みなさんに読んで頂きたい、おすすめ記事、等をご紹介ください。

また、「5分間情報」ですが、これは何でもどんなテーマでも構いませんので、一つの話題として担当の方はご準備と発表をお願いします。その意義は、会員同士の理解を深める事。情報・知識の共有。そして発言の場を広げる事等が挙げられます。

また、時間に余裕がある時は、その場で会場に貯金箱を回し、受け取って会員は100円や500円の募金をいただきながら、ご自身の想いや体験を語っていただく「ワンコイン卓話」というものを考えました。

鶴峰クラブの事例を参考にしましたが、これは「会員の中にある価値を引き出す」ことが目的です。

ロータリーの素晴らしさは、専門性を持った人たちが、それぞれの人生経験や想いを、対話を通して共有できること。それはネット検索では出ない答え、それはまさに「物語」であり、「声そのもの」が財産なのです。

たとえば――

「君の仕事に対する“想い”は何か」

「あなたの一番“忘れられない失敗”は？」

「人生を変えた“一冊の本”とは？」

以前、高梨さんから突然「君の仕事に対する“想い”は何か」と尋ねられたことがあり、非常に印象に残っています。

こうした問いかけが、ロータリーをより深く、そして“自分ごと”として感じるきっかけになるのではないのでしょうか。

次に、三カ年プロジェクトについてご報告いたします。

現在2年目となるプロジェクトは、「エコバック兼防災頭巾」のアイデアからスタートしました。

日頃買物の際使うエコバックに防災頭巾の機能を持たせたエコバックをクラブが試作し、材料を提供し、地域の障害者の作業所に発注し、地域住民に提供する。最初はクラブが少量生産できる資金を提供し、その後は地域に募金活動を通して会員と地域住民を繋げようと企画する

もの。

これは、エコバッグと防災頭巾を組み合わせたグッズというのは実用性・話題性ともに、また障害者の作業所との連携や募金による地域参加など。SDGsの観点（※目標8「働きがいも経済成長も」、目標11「住み続けられるまちづくりを」など）にもつながる活動としてもよい取組と考えました。

このプロジェクトの主なポイント

① 実用性と防災意識の融合

普段使うエコバッグに「防災頭巾」の機能をつけることで、災害時に即座に使える。

「日常から防災を身につける」姿勢が地域に広がります。

② 障害者支援との連動

障害者の就労支援施設との連携は、地域福祉の視点を持つクラブ活動として非常に好印象。クラブの「社会的包摂力」が地域に伝わります。

③ 地域住民とのつながり・募金の工夫

募金は「支援している感覚」と「関心の継続」を生み出します。

地域住民を“支援する側”として巻き込める良い仕組み。

初期資金はクラブが支援しますが、その後は地域での販売や寄付、企業協賛などを通じて、持続可能な取り組みとしたいと考えています。

このプロジェクトの狙いは仲間を増やすことです。

市民の中には、「ロータリーって何をしている団体か分からない」と感じている方も多く、地域における認知度の低下が会員減少の一因となっているといわれています。

だからこそ、エコバッグのモニターをお願いしたり、防災について話し合ったり、そんな小さなきっかけの積み重ねが大切だと考えています。

この活動にあたって、クラブの皆様にいくつかお願いがあります。エコバックのモニターのお願いです。試作品をご家庭・職場お持ちいただき、ご意見等の情報収集をお願いします。そして例会にて発表してください。また、先程触れた5分間情報のテーマとして「ちょっと気になる防災情報」ご自身の地域やご家庭で「これ、ちょっと気になってるんだよね」という防災に関する話題を収集、発表していただき、共有し

ていきたいと思っています。

このプロジェクトは、「防災 × 福祉 × 地域貢献」というロータリーらしい三位一体の活動です。加えて、継続性と発展性がある点でも非常に魅力的です。クラブの三ヵ年計画の目玉事業の一つとして進めて行きたいと思っています。

加えて、地区行事への積極的な参加もお願いしたいと思っています。

たとえば、地区大会。クラブとして21万円を登録費（会員一人1万円）として納めていますが、昨年度の出席者は6名にとどまりました。特に新会員の参加が少ないことが気になります。

是非、地区全体の雰囲気を経験してみてください。視野が広がり、ロータリーの魅力がぐっと身近になります。

また、ポリオデーでは新川さん親子が本当に一生懸命取り組んでくださっています。クラブ全体でその活動を支えられたら素晴らしいことだと思います。

さらに、2026年6月には台北で国際大会が開催されます。アジア開催ということで比較的参加しやすく、世界中のロータリアンと交流できる貴重な機会です。ぜひ多くの方にご参加いただき、世界のロータリーのパワーを肌で感じていただきたいと思います。

最後に、地区にはたくさんの同好会があることをご紹介します。

ゴルフ、テニス、草野球、クレ射撃、バイク、クラシックカー、音楽、そして私が幹事を務めている「美術同好会」など、多彩な活動があります。こうした場を通じて、クラブの枠を超えた仲間づくりや情報交換も可能になります。

どうか、旭という枠にとらわれず、広くロータリーを楽しんでください。視野を広げることが、ロータリーの新しい価値を見つけるきっかけになります。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

皆さまにとっても「楽しかった」「参加してよかった」と思えるような一年になるよう、全力を尽くしてまいります。ありがとうございました。

■次回例会

7/16 7/23 休会

7/30 クラブ協議会（ガバナー補佐をお迎えして）